

健康増進施策

生活習慣の改善及びコミュニケーションを醸成することを目的にした「元気チャレンジ!」と、本気で減量を目指す肥満率改善の「元気チャレンジプラス」をそれぞれ年間を通して実施しています。アプリを活用し、常に健康管理・健康を意識できる環境を提供し続けています。

元気チャレンジ! ※チーム・個人

【目的】生活習慣改善、コミュニケーション醸成

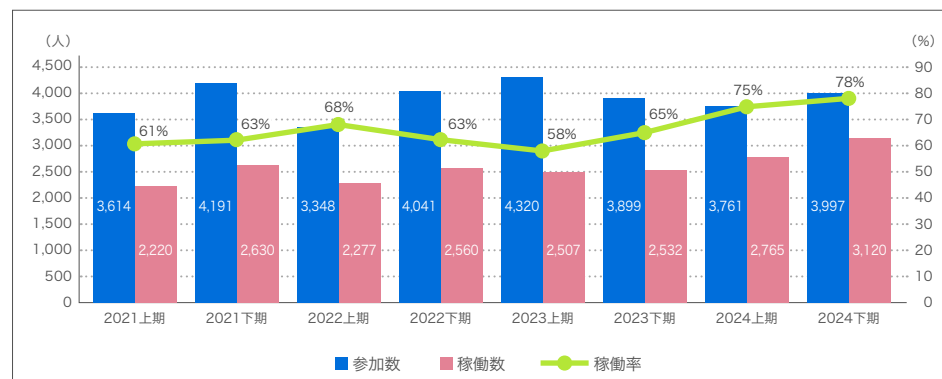
元気チャレンジ! は、食事管理アプリを活用し、日々の活動を記録して生活リズムを整え、チームで協力することにより、コミュニケーション醸成を図る健康増進施策です。この施策はローソングループ6社と合同で取り組んでおり、参加者の約70%が回答したアンケートでは約90%が参加してよかったと満足度が高い状況を維持しています。さらにそのうち約25%が体重減少などの体の変化を実感しています。

参加者にはインセンティブとしてPontaポイントが付与されますが、2020年度より継続している「ほっ♪と応援ポイント」(任意)ではポイントをフードバンクや「ローソングループ“マチの幸せ”募金」に2024年度までで延べ約47万円の寄付を行いました。

また、実施7年目となる2024年度のアプリ稼働者数は3,120人となり、毎年伸長しています。これは、各カンパニープレジデントや元気リーダーによる連携、協力と、2024年度よりはじめた健康経営講話の実施による影響が大きいと考えています。

今後も、健康増進施策を管理職が積極的に活用し、個々人の生活習慣改善及び部署内のコミュニケーション醸成に役立つものとして様々な取り組みを実施してまいります。

■アプリ稼働率推移



元気チャレンジプラス ※個人、BMI22未満対象外

【目的】肥満率改善、BMI22を目指す

元気チャレンジプラスは、健康の目安としてBMI22を目指し、5か月間で各自3~5%の減量を目標に取り組み、達成したら最大1万Pontaポイントが獲得できる企画です。強制ではなく、希望者が任意で取り組みます。2023年度の取り組みの成果として2024年度健診結果では目標達成者が47人と、前年度の35人から増加しました。目標には届かなくても体重が減少している方は約半数います。

	参加者数	体重減少者数		目標達成者数	
2022年度	379人	204人	54%	35人	9%
2023年度	317人	140人	44%	47人	15%

BMI25以上の軽度肥満領域とBMI23~25の方々の軽度肥満予防層に働きかけることで肥満率改善が見込めるとして、特に若年層を中心に早くから生活習慣病予防の意識を高めていくことが重要だと考えています。

スポーツ大会

2009年度から毎年実施している「スポーツ大会」。2023年度からはグループ各社も参加しています。コロナ禍を経てリアルでの大会実施を再開、2024年度は「ボウリング大会」を開催しました。各カンパニーでの予選大会、グループ各社を含む全国大会とともに白熱した戦いが繰り広げられました。グループ全体の健康とコミュニケーションの活性化に取り組んでいます。



写真: 本社予選大会 集合写真



写真: ボウリング大会に参加する社長の竹増